

商 品 仕 様 書

商品名 : 創蓄連携システムS+
パワーステーションS+(本体・5.5kW・一般)
パワーステーションS+(本体・5.5kW・耐塩)

品番 : LJRC41 パワーステーションS+(本体・5.5kW・一般)
LJRC42 パワーステーションS+(本体・5.5kW・耐塩)

2021年 9月 6日発行

パナソニック株式会社

目次

1. 適用範囲	2
2. 商品概要	2
3. 準拠規格	3
4. 取得認証	3
5. 機能概略	4
5-1. 連系運転	
5-2. 自立運転	
5-3. 遠隔出力制御	
5-4. 外部制御	
6. 一般条件	5
6-1. 周囲条件	
6-2. 設置条件	
6-3. 塩害地域での設置	
6-4. 設置スペース	
7. 定格仕様	8
7-1. 定格仕様	
7-2. 保護機能	
8. 製品内容	10
8-1. 本体	
8-2. 付属品	
9. 配線図	11
9-1. システム配線例	
9-2. 端子配線図	
10. 外形寸法図	13
10-1. 本体寸法	
10-2. 取付板寸法	
10-3. 逆潮用CT	
10-4. 取付板固定ネジ	
11. 定格銘板	16
11-1. 定格ラベル	
11-2. 保護シート印刷図	
12. 接続機器	18
13. 主回路構成図	19
14. 系統連系保護協調チェックリスト	20

創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)

品番:LJRC41/LJRC42

商品仕様書

No. 2

全20

1. 適用範囲

本仕様書は住宅用の創蓄連携システム S+に使用する「パワーステーションS+（本体・5.5kW・一般） LJRC41」および「パワーステーションS+（本体・5.5kW・耐塩） LJRC42」に適用する。

2. 商品概要

創蓄連携システムS+はパワーステーションS+(本体)に加え、ネットリモコン、パワーステーションS+(蓄電池用コンバータ)(以下、蓄電池用コンバータと称す)、リチウムイオン蓄電池ユニット(以下、蓄電池ユニットと称す)、および200Vトランスユニットから構成される電力システムである。

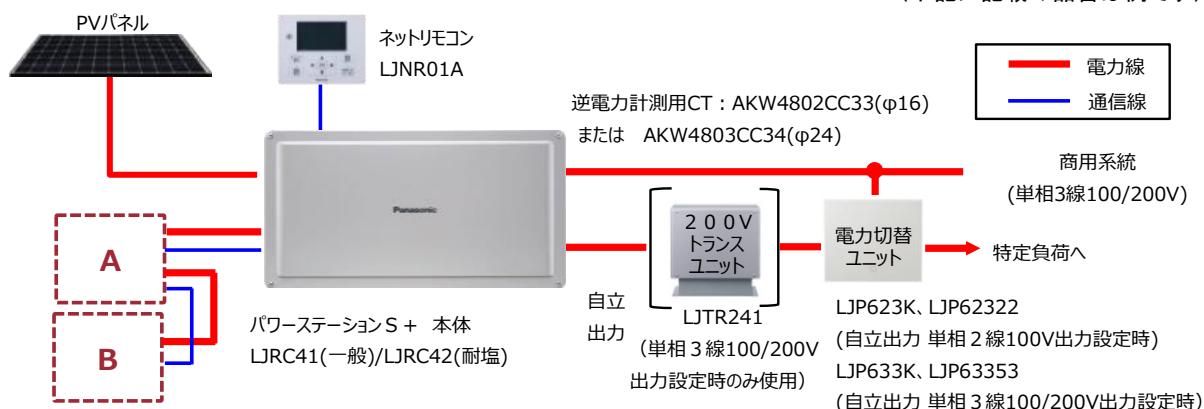
本製品は創蓄連携システムS+のパワーステーションS+(本体)として設計・製作されたもので、電力変換機能および系統との保護協調を行う保護装置により構成されている。

パワーステーションS+(本体)は太陽電池及び蓄電池を電源として5.5kWの出力容量を有しており、系統(商用電源)に接続して動作する系統連系用発電システムである。

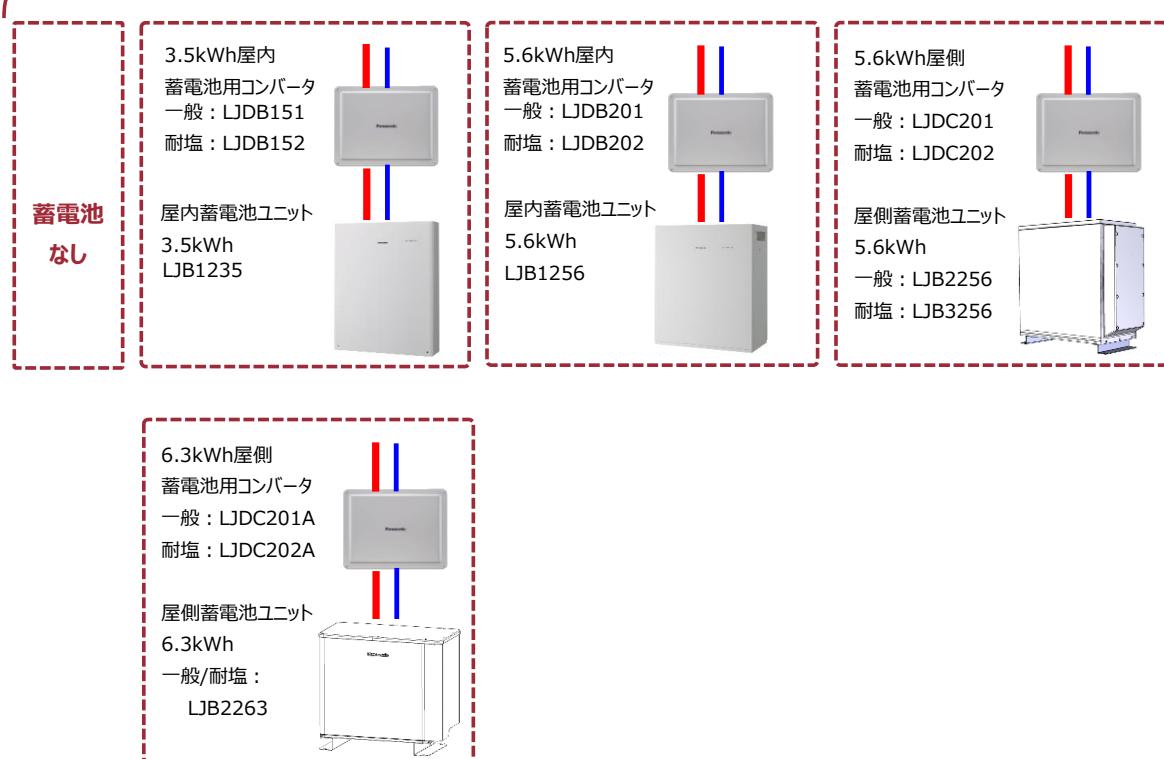
また、保護装置は太陽光発電システムなどの分散電源を電力会社の系統と連系するために必要な技術的基準である「系統連系技術要件ガイドライン」を満足しており、系統との保護協調を考慮して、過電圧、不足電圧、周波数上昇、周波数低下、電圧上昇抑制及び単独運転防止の保護機能を有する。

さらに、装置を系統から分離することにより、自立運転インバータとして交流電源を供給する。

(下記に記載の品番は例です)



上記A/Bは、下記より選択可能



創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)		品番:LJRC41/LJRC42																													
商品仕様書		No. 3																													
		全20																													
<u>3. 準拠規格</u>																															
<ul style="list-style-type: none"> ・ JIS C 8980「小出力太陽光発電用パワーコンディショナ」(日本工業規格) ・ JIS C 8961「太陽光発電用パワーコンディショナの効率測定方法」(日本工業規格) ・ JIS C 4412-1「低圧蓄電システムの安全要求事項 第1部 一般要求事項」(日本工業規格) ・ マルチ入力システム用系統連系保護装置等の個別試験方法 (JETGR0003-11-4.0 (2019)) ・ 系統連系規程(JEAC 日本電気協会) ・ 電気事業法施行規則 																															
<u>4. 取得認証</u>																															
<p>・JET認証 「小型分散型発電システム用系統連系装置」</p> <table> <tr> <td>認証登録番号</td><td>MD-0038</td></tr> <tr> <td>認証モデルの名称</td><td>系統連系保護装置及び系統連系用インバータ</td></tr> <tr> <td>認証モデルの用途</td><td>マルチ入力システム用</td></tr> <tr> <td>認証モデルの型式</td><td>パワコン型式 LJRC41、LJRC42(システムの詳細は認証証明書を参照) コンバータ型式 LJB1235用 : LJDB151、LJDB152 LJB1256用 : LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 : LJDC201、LJDC202 LJB2263用 : LJDC201A、LJDC202A</td></tr> <tr> <td></td><td>ネットリモコン LJNR01A</td></tr> <tr> <td></td><td>蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(屋側5. 6kWh)、LJB3256(屋側耐塩5. 6kWh) LJB2263(屋側 6. 3kWh)</td></tr> <tr> <td>特記事項</td><td>FRT要件対応、遠隔出力制御(広義)対応、無効電力発振抑制機能対応 逆潮流検出用CTの型名 AKW4802CC33(Φ16) AKW4803CC34(Φ24) <自立出力単相2線100V設定時> 自立出力トランス 設定無 連系／自立切替SW LJP623K、LJP62322、LJP6234、LJTS2322 LJTS234(単相2線) <自立出力単相3線100/200V設定時> 自立出力トランス LJTR241 連系／自立切替SW LJP633K、LJP63353、LJTS1601 LJTS1621、LJTS3353 ※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可) 遠隔出力制御(広義)の組み合わせの詳細は、認証証明書を参照</td></tr> <tr> <td>・S-JET認証</td><td>試験基準 JIS C 4412-1 及び 「蓄電システムの一般及び安全要求事項(1)」10</td></tr> <tr> <td></td><td>認証書番号 1550-99003-005</td></tr> <tr> <td></td><td>製品名 蓄電システム</td></tr> <tr> <td></td><td>製品の型番 パワコン型式 LJRC41、LJRC42 コンバータ型式 LJB1235用 LJDB151、LJDB152 LJB1256用 LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 LJDC201、LJDC202 LJB2263用 LJDC201A、LJDC202A</td></tr> <tr> <td></td><td>ネットリモコン LJNR01A</td></tr> <tr> <td></td><td>蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(5. 6kWh・屋側)、LJB3256(5. 6kWh・屋側) LJB2263(6. 3kWh・屋側)</td></tr> <tr> <td></td><td>※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可)</td></tr> <tr> <td>・ECHONET Lite認証</td><td>認証登録番号 GZ-000639 Appendix バージョン Release K</td></tr> </table>		認証登録番号	MD-0038	認証モデルの名称	系統連系保護装置及び系統連系用インバータ	認証モデルの用途	マルチ入力システム用	認証モデルの型式	パワコン型式 LJRC41、LJRC42(システムの詳細は認証証明書を参照) コンバータ型式 LJB1235用 : LJDB151、LJDB152 LJB1256用 : LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 : LJDC201、LJDC202 LJB2263用 : LJDC201A、LJDC202A		ネットリモコン LJNR01A		蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(屋側5. 6kWh)、LJB3256(屋側耐塩5. 6kWh) LJB2263(屋側 6. 3kWh)	特記事項	FRT要件対応、遠隔出力制御(広義)対応、無効電力発振抑制機能対応 逆潮流検出用CTの型名 AKW4802CC33(Φ16) AKW4803CC34(Φ24) <自立出力単相2線100V設定時> 自立出力トランス 設定無 連系／自立切替SW LJP623K、LJP62322、LJP6234、LJTS2322 LJTS234(単相2線) <自立出力単相3線100/200V設定時> 自立出力トランス LJTR241 連系／自立切替SW LJP633K、LJP63353、LJTS1601 LJTS1621、LJTS3353 ※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可) 遠隔出力制御(広義)の組み合わせの詳細は、認証証明書を参照	・S-JET認証	試験基準 JIS C 4412-1 及び 「蓄電システムの一般及び安全要求事項(1)」10		認証書番号 1550-99003-005		製品名 蓄電システム		製品の型番 パワコン型式 LJRC41、LJRC42 コンバータ型式 LJB1235用 LJDB151、LJDB152 LJB1256用 LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 LJDC201、LJDC202 LJB2263用 LJDC201A、LJDC202A		ネットリモコン LJNR01A		蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(5. 6kWh・屋側)、LJB3256(5. 6kWh・屋側) LJB2263(6. 3kWh・屋側)		※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可)	・ECHONET Lite認証	認証登録番号 GZ-000639 Appendix バージョン Release K
認証登録番号	MD-0038																														
認証モデルの名称	系統連系保護装置及び系統連系用インバータ																														
認証モデルの用途	マルチ入力システム用																														
認証モデルの型式	パワコン型式 LJRC41、LJRC42(システムの詳細は認証証明書を参照) コンバータ型式 LJB1235用 : LJDB151、LJDB152 LJB1256用 : LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 : LJDC201、LJDC202 LJB2263用 : LJDC201A、LJDC202A																														
	ネットリモコン LJNR01A																														
	蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(屋側5. 6kWh)、LJB3256(屋側耐塩5. 6kWh) LJB2263(屋側 6. 3kWh)																														
特記事項	FRT要件対応、遠隔出力制御(広義)対応、無効電力発振抑制機能対応 逆潮流検出用CTの型名 AKW4802CC33(Φ16) AKW4803CC34(Φ24) <自立出力単相2線100V設定時> 自立出力トランス 設定無 連系／自立切替SW LJP623K、LJP62322、LJP6234、LJTS2322 LJTS234(単相2線) <自立出力単相3線100/200V設定時> 自立出力トランス LJTR241 連系／自立切替SW LJP633K、LJP63353、LJTS1601 LJTS1621、LJTS3353 ※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可) 遠隔出力制御(広義)の組み合わせの詳細は、認証証明書を参照																														
・S-JET認証	試験基準 JIS C 4412-1 及び 「蓄電システムの一般及び安全要求事項(1)」10																														
	認証書番号 1550-99003-005																														
	製品名 蓄電システム																														
	製品の型番 パワコン型式 LJRC41、LJRC42 コンバータ型式 LJB1235用 LJDB151、LJDB152 LJB1256用 LJDB201、LJDB202 LJB2256/LJB3256用 LJDC201、LJDC202 LJB2263用 LJDC201A、LJDC202A																														
	ネットリモコン LJNR01A																														
	蓄電池ユニット LJB1235(3. 5kWh)、LJB1256(5. 6kWh) LJB2256(5. 6kWh・屋側)、LJB3256(5. 6kWh・屋側) LJB2263(6. 3kWh・屋側)																														
	※上記品種を組み合わせたシステムとしての認証 (一般品と耐塩害品の組み合わせによるシステム構成は不可)																														
・ECHONET Lite認証	認証登録番号 GZ-000639 Appendix バージョン Release K																														

- ・ECHONET Lite AIF認証(蓄電池・HEMSコントローラ間)

認証登録番号 LZ-000154

Appendix バージョン Release K

- ・ECHONET Lite AIF認証(住宅用太陽光発電・HEMSコントローラ間)

認証登録番号 LZ-000155

Appendix バージョン Release K

5. 機能概略

5-1.連系運転

蓄電池が接続されていないシステムにおいては、太陽光発電システム用パワーコンディショナとしての動作を行う。太陽電池により発電された直流電力を交流電力に変換し、その電力は負荷電力に使用、または余剰分を系統に売電することができる。

蓄電池が接続されているシステムにおいては、上記太陽光発電システム用パワーコンディショナとしての動作に加えて、余剰電力や系統から蓄電池に充電したり、太陽光発電の不足分を蓄電池で補うように放電する。

蓄電池が接続されているシステムにおいては、蓄電池の活用方法として下記に示すようなモードによりその動作を変更することができる

<経済モード>

深夜電力で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により、電力不足分を補う。

(連系運転時の蓄電池動作は電池容量の充電上限を100%、放電下限を10%の範囲で充放電可能)

<環境モード>

太陽光発電の余剰分で蓄電池に充電し、太陽光発電の不足時に蓄電池の放電により、電力不足分を補う。

(連系運転時の蓄電池動作は電池容量の充電上限を100%、放電下限を10%の範囲で充放電可能)

<蓄電モード>

停電に備えて、常に蓄電池が満充電になるまでに充電し、その状態(蓄電池残量95%~100%)を保持する。

【注意事項】

- ・設置時、逆潮流用CTを正しく取り付けていない場合は運転できない。
- ・運転中に逆潮流用CTを取り外すと運転できない。
- ・設置後、逆電力防止の整定値は固定のため使用者は変更することができない。
- ・太陽光発電の余剰電力の売電中は、蓄電池から放電しない。

5-2.自立運転

停電時は系統電源から切り離し、自立運転により太陽電池と蓄電池からバックアップ回路へ電力供給が可能。自立負荷が少なく余剰電力が発生している場合には蓄電池への充電が可能。

蓄電池動作は連系運転時の動作モードに関わらず、充電上限を100%、放電下限0%の範囲内で充放電可能。また、復電時には自立運転を停止し、連系運転へ切り替わる。

※初期状態は上記が手動切替えに設定されており、自動切替えへの変更はネットリモコン(別売)により可能。

<接続可能な機器(特定機器)の例>

- ・卓上蛍光灯、蛍光灯、LED照明(非常灯を除く。機種によっては自動切替時に自動で再点灯しない場合あり。)
- ・テレビ、ラジオなど
- ・携帯電話充電器、ノートパソコン、FAX付き電話、モデム、ルーターなど
- ・扇風機、エアコン、冷蔵庫など

【注意事項】

- ・本機から供給される自立出力は、系統電源と完全に同一ではありません。
- ・設置機器の構成や車種により、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHEV)への充電ができない場合があります。
- ・人の生命・財産に影響する機器や社会機能に影響を与える制御機器などは接続不可。
(医療機器、防犯機器、生物や生体組織の飼育・培養・保管機器、医薬品類の保管機器など)

創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)

品番:LJRC41/LJRC42

商品仕様書

No. 5

全20

- 以下の電気機器も接続不可。
 - サーバーやデスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器(データ保存機器など)。
 - 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復帰したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器。
 - 建築基準法で定められている予備電源や消防法で定められている非常電源に接続される機器。
 - 自立運転時に出力が不安手になったり、出力が停止するおそれのある機器。
 - (一部の燃料電機やディーゼル発電機、ガスエンジン発電機などの発電設備や他の蓄電設備、大容量コンデンサの安定器を必要とするHIDランプ等)
 - 機器によっては電源投入時に突入電流があり、保護機能が働いて自立運転を停止する可能性があります。
 - (インバータ始動でないポンプ、冷凍機等のモーター負荷など)
 - 位相制御するタイプの調光器具などはちらつきなどが発生する可能性あり。
 - 発電機等の出力を系統電源として本機に入力することは不可。また、本機の自立出力を発電機等と接続することも不可。
 - 複合機やプリンタは、機種により通信中に停電すると故障する場合がある。必要に応じてUPSと組み合わせること。
- バックアップ用住宅分電盤には、自動切換で供給した場合に不安定になりうる機器は接続しない。
(自動切換設定時)
- 本機はUPS(無停電電源装置)ではない。そのため停電時の動作は数十秒程度出力が停止した後、電力供給が可能となる。(自動切換設定時はその後、自動的に電力供給する)

5-3. 遠隔出力制御

本製品は、2015年1月22日公布の電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令と関連告示に対応した機器である。

※遠隔出力制御を有効にするためには、電力会社によってはインターネット回線への接続が必要。

※インターネット回線をご準備いただく場合は、インターネット回線契約・利用に伴う費用などはお客様のご負担。

※遠隔出力制御の内容については、各電力会社のホームページを参照のこと。

※遠隔出力制御の対応のため、出力制御ユニットのファームウェア(ソフトウェア)の更新や設置場所での作業(有償)が必要となる場合もあります。製品の対応詳細については、遠隔出力制御に関して各電力会社から発表された後に、当社ホームページにてお知らせする予定。

5-4. 外部制御

本製品は、ネットリモコン(別売)を経由しネットワークと接続することで、ECHONET Lite™により、充電、放電、待機の外部制御が可能。

※次のような場合、外部制御の指示通りに動作しないことがある。

- ・負荷消費が少ない場合の放電指示
- ・電池残量が放電下限を下回る場合の放電指示
- ・満充電の場合の充電指示
- ・電池温度が充電可能温度を下回る場合の充電指示。

6. 一般条件

6-1. 周囲条件

設置場所	屋側・屋外
使用温度範囲	-20°C～50°C (直射日光が当たらないこと)
使用湿度範囲	0～90%RH(ただし結露なきこと)
耐久気圧・設置高度	標高1000m以下

6-2. 設置条件

次のような場所への設置および接続は行わないこと。

- ・重塩害地域
- ・瀬戸内海沿岸で、直接、海水飛沫や潮風にさらされる場所
- ・積雪により製品が埋没する場所、落雷の衝撃を受ける場所
(積雪地域に取り付ける場合は、屋根・囲いなどを設ける)

- ・常時湿度の高い場所
- ・水上および常時水を浴びる場所、冠水のある場所や水はけの悪い場所
- ・過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、腐食性物質、爆発性／可燃ガス、化学薬品、火気、直射日光にさらされるおそれのある場所
- ・温度変化の激しい場所。(結露がある場所)
- ・換気、風通しの悪い場所や温度が著しく上昇する場所(屋根裏、納戸、押し入れ、床下など)
- ・製品からの排熱により壁への影響(変色など)がある場所
- ・騒音について厳しい制約を受ける場所
- ・振動または衝撃を受ける場所、ボールなどの当たるおそれのある場所(野球場、サッカー場など)
- ・高周波ノイズを発生する場所のある場所(「設置スペース」の項参照)
- ・指定の設置スペースを確保できない場所
- ・点検・メンテナンスができない場所 (長期に安全にご使用いただくため、お手入れや定期点検が必要。足場やハシゴなど高所作業が必要となる場所、お客様の点検・お手入れができない場所も含む)
- ・取り付ける建物の壁強度が弱い場所
- ・取り付ける建物の壁面の凹凸が大きく平面度が悪い、もしくは壁面が垂直でない場所
- ・架台への設置など、製品の背面が開放しているような場所
- ・外壁に必要な配線工事ができない場所(パワーステーションS+への配線集中あり)
- ・自動車、船舶などの特殊な場所
- ・テレビ、ラジオなどのアンテナ、アンテナ線より3m以上間隔を取れない場所
- ・電気的雑音の影響を受けると困る電気製品の近く
(PLC、DLNAなど通信を利用する機器については、相互干渉し、正常な動作ができなくなる場合がある)
- ・アマチュア無線のアンテナが近隣にある場所
(近隣にアマチュア無線のアンテナがあるところに創蓄連携システムを設置すると、創蓄連携システムの機器や配線から発生する電気的雑音(ノイズ)を感度の高いアマチュア無線機が受信することで通信の障害になる場合がある。)
- ・系統電力が無い場所や日常的・定期的に長時間・高頻度の停電が発生するような場所

6-3. 塩害地域での設置

塩害地域に設置する場合には、下表を参考し、LJRC42(耐塩タイプ)を使用すること。

ただし、耐塩仕様であっても、海水飛沫のかかる場所には設置不可。

また、潮風に直接さらされる場所への設置は極力避けること。

対象機種	海岸からの距離、区分											
	300m以内			300m超～500m以内			500m超～1km以内			1km超		
	沖縄・離島	外洋	内海	沖縄・離島	外洋	内海	沖縄・離島	外洋	内海	沖縄・離島	外洋	内海
LJRC41	×	×	×	×	×	△	×	×	○	×	○	○
LJRC42	×	×	△	×	△	○	△	○	○	△	○	○

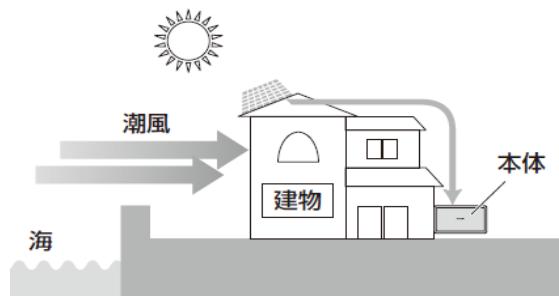
○:潮風が当たる場所でも設置可能、△潮風が当たる場所は設置不可、×:設置不可

<内海(瀬戸内海)の範囲>

内海とは瀬戸内海を指し、その範囲は領海法によるものとし、下図に示します。

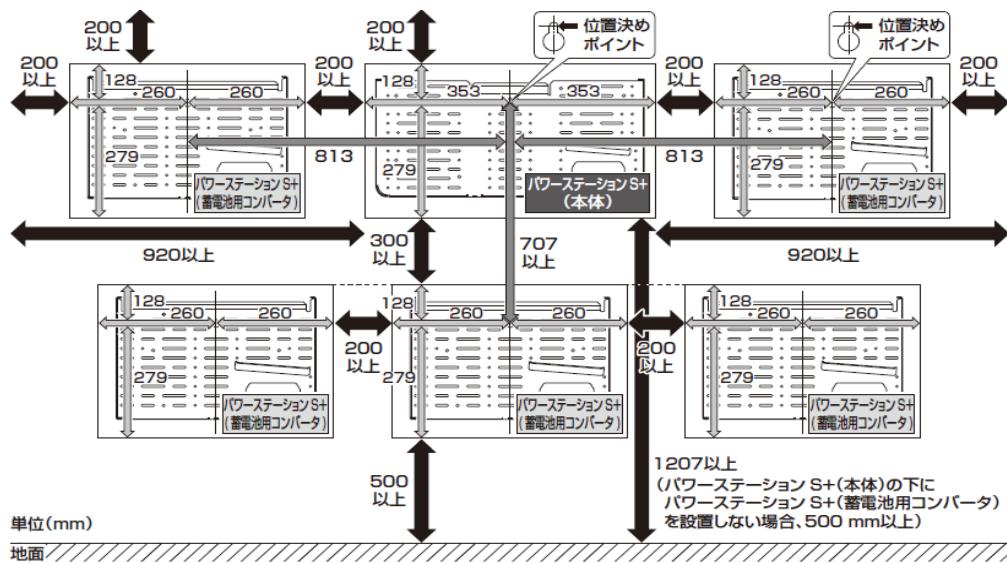


■潮風が直接当たらない場所への設置例

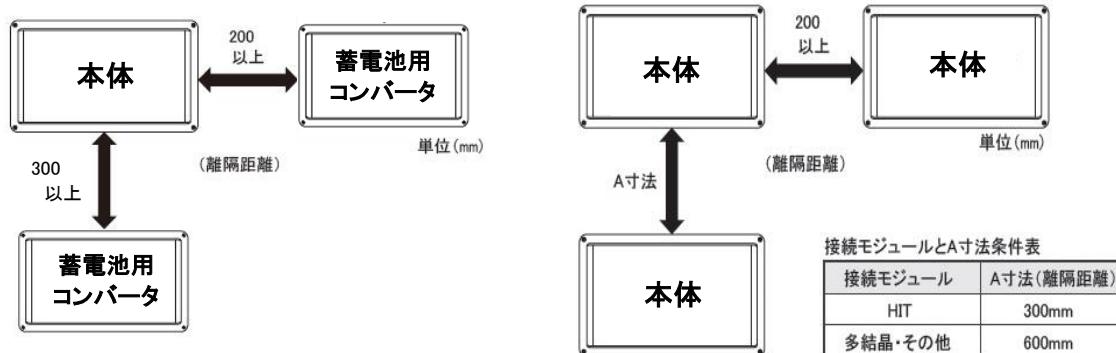


6-4. 設置スペース

- 床面・地面などの放熱スペースは500mm以上を確保してください。
- 作業スペースのため各機器の前面から、手前に800mm以上の空間を確保することを推奨します。
また、上下左右は放熱、点検のために、下図に示すスペースが必要です。
- 800mm(推奨)の確保が難しい場所への設置は、あらかじめ施工やメンテナンスが可能であることをご確認のうえ、設置してください。
- 取付高さ(A寸法)は下記寸法を確保してください。
- 蓄電池用コンバータを後付することを考慮して、設置場所の検討・控え寸法の確認をおこなってください。



<蓄電池用コンバータを本体の下や左右に設置する場合> <本体を上下左右に並べて設置する場合>



商品仕様書

No. 8

全20

7. 定格仕様と保護機能

7-1. 定格仕様

項目	定格値	
太陽光入力 (直流)	入力定格電圧	DC 330 V
	入力運転電圧範囲	DC 40~450 V (最大許容電圧: 450 V ※1)
	入力数	4回路／4MPPT 開閉器機能内蔵
	入力定格電力	6. 0 kW/4回路
	最大入力動作電流	DC 11 A/1入力 DC44 A/4入力合計 ※2
	最大許容短絡電流	DC 12 A/1入力 ※3
	電力制御方式	連系運転時：最大電力点追従制御 自立運転時：最大電力点追従制御(蓄電池接続時) 出力電圧制御方式(蓄電池未接続時)
	起動電圧	DC70V±3V以上を150秒以上継続 又は、DC150V±3V以上を10秒以上継続 ※1回路が70V以上の入力条件を満たせば、他回路は50V以上の入力で起動可能
DCバス 入出力 (直流)	入出力定格電圧	DC 330 V
	電圧許容範囲	DC 0~450 V
	入出力最大電力	入力電力 4. 2 kW (蓄電池放電側) 出力電力 3. 2 kW (蓄電池充電側)
	入出力最大電流	入出力電流 14. 6 A
系統連系 入出力 (交流)	入出力定格電圧	AC 101／202 V
	接続相線	単相3線式 2W+N+PE(電気方式 単相2線)
	定格周波数	50／60 Hz (自動判別)
	出力定格有効電力	5. 5 kW(力率0. 95)、5. 5 kW(力率1. 0)
	出力定格皮相電力	5. 8 kVA(力率0. 95)、5. 5kVA(力率1. 0時)
	定格出力電流	28. 7 Arms(力率0. 95時)
	太陽光発電電力変換効率	96. 5 % (JIS C8961に基づく)
	指定力率(JET認証範囲)	0. 95~1. 0 0. 01刻みで可変(出荷時0. 95)
	出力高調波電流歪率	総合 5%以下、各次3%以下
	蓄電池(単独時)	放電時：最大 4. 0 kW
	系統入出力電力	充電時：最大3. 5 kW
	蓄電池(単独時)	放電時：最大 AC20A
自立出力 (交流)	系統入出力電流	充電時：最大 AC17. 5A
	連系運転範囲	連系点電圧 OVR、UVR設定値による 系統周波数 OFR、UFR設定値による
	自立出力設定	100 V ※4
	出力定格電圧	AC101 V±6 V
	接続相線	単相2線1W+N(N相接地)
	定格周波数	50／60 Hz
電気的特性	出力定格有効電力	2. 75 kW (抵抗負荷時)
	出力定格皮相電力	2. 75 kVA
主回路方式	絶縁抵抗	DC 500 V 1MΩ(端子台と外郭)
	耐電圧	AC 1500 V 1分間(端子台と外郭)
その他特性	変換方式	連系運転時：電圧型電流制御方式 自立運転時：電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波PWM方式
	冷却方法	自然空冷(内部循環ファン付)
	保護等級	IP55(配線部および水抜き孔除く)
	雑音端子電圧	VCCI クラスB(準尖頭値)
	運転音	33 dB以下(本体正面1m、A特性)
	外形寸法	W706×H407×D214(mm) 取付板含む奥行: 216(mm)
	質量	約26 kg(取付板、保護ガード(上)含む場合: 約30 kg)
	待機時消費電力	8 W未満(ネットリモコン消費電力2Wを含む)

※1 電気設備技術基準の対地電圧は450V以下であることと規定されています。従って、太陽電池の組み合わせにおいて、いかなる条件(環境、太陽電池特性を含めて)においても450V以下となるようなシステム設計をしてください。450Vを超えた場合には直流過電圧の異常を検出しパワーコンディショナは停止します。
直並列選定時の設計起因により運転時の電圧が450Vを超える過電圧が発生した場合、保証の対象外となります。

※2 最大入力動作電流

動作可能な最大電流値です。この値以上の入力を行っても、パワーコンディショナは上限を超えないようにより制御して運転します。

※3 最大許容短絡電流

システム設計時の太陽光パネルの短絡電流を想定した電流値です。接続する太陽電池の短絡電流はこの値以下としてください。

※4 蓄電池ユニット1台接続の場合は、自立出力電力は2kVAとなります。

※5 200V出力設定で使用するためには、200Vトランスユニット(LJTR241)が必要です。

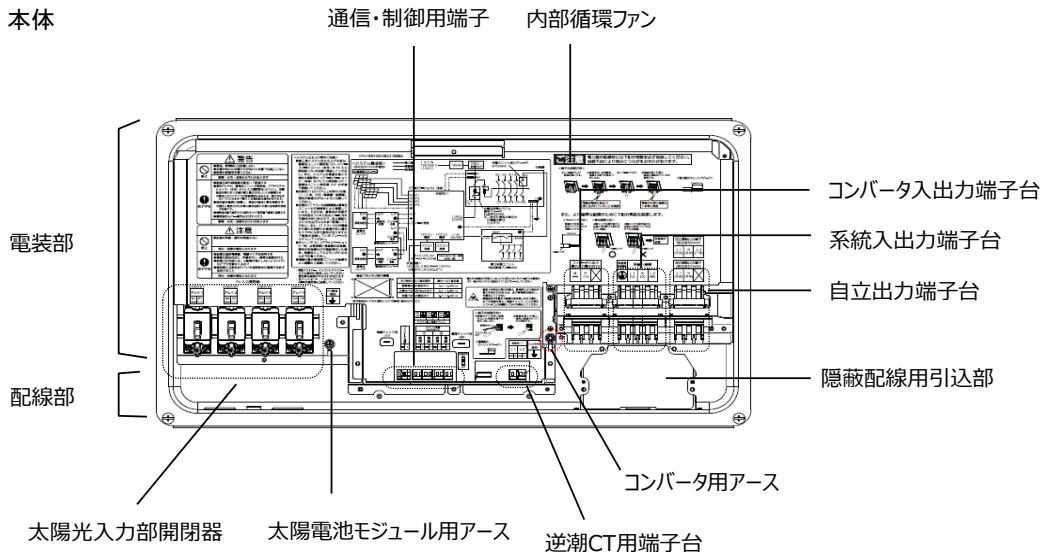
7-2. 保護機能

系統過電圧(OVR) U, W相個別設定	検出相数 検出レベル 検出時間 解列箇所	2相(単相3線式の中性線と両側電圧間) 115V(整定値範囲 110~120V:設定ステップ2.5V) 1.0秒(整定値範囲 0.5~2秒:設定ステップ0.5秒) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
系統不足電圧(UVR) U, W相個別設定	検出相数 検出レベル 検出時間 解列箇所	2相(単相3線式の中性線と両側電圧間) 80V(整定値範囲 80~90V:設定ステップ2.5V) 1.0秒(整定値範囲 0.5~2秒:設定ステップ0.5秒) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
系統過周波数(OFR)	検出相数 検出レベル 検出時間 解列箇所	1相(単相3線式の両側電圧間) 50Hz地区 51.0Hz(整定値範囲 50.5~52.5Hz:設定ステップ0.5Hz) 60Hz地区 61.2Hz(整定値範囲 60.6~63.0Hz:設定ステップ0.6Hz) 1.0秒(整定値範囲 0.5~2.0秒:設定ステップ0.5秒) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
系統不足周波数(UFR)	検出相数 検出レベル 検出時間 解列箇所	1相(単相3線式の両側電圧間) 50Hz地区 47.5Hz(整定値範囲 47.5~49.5Hz:設定ステップ0.5Hz) 60Hz地区 57.0Hz(整定値範囲 57.0~59.4Hz:設定ステップ0.6Hz) 2.0秒(整定値範囲 0.5~2秒:設定ステップ0.5秒) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
保護リレー復帰時間	整定値	300秒(整定値範囲 150, 300, 5秒、手動復帰)
電圧上昇抑制レベル	制御方法 検出レベル	進相無効出力制御及び出力制御 109V(整定値範囲 107V~113V:設定ステップ0.5V)
受動的単独運転検出	方式 検出レベル 検出時間 解列箇所	電圧位相跳躍検出方式 位相変化8度(整定値範囲 6~12度:設定ステップ2度) 0.5秒以内(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
能動的単独運転検出	方式 検出レベル 解列時間 解列箇所	ステップ注入付周波数フィードバック方式 周波数1.2Hz 0.2秒以内(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
直流分検出	検出レベル 検出時間 解列箇所	220mA(整定値固定) 0.4秒(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
直流過電圧	検出レベル 検出時間 解列箇所	455V(整定値固定) 0.3秒(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
直流不足電圧	検出レベル 検出時間 解列箇所	40V(整定値固定) 0.1秒(整定値固定) ゲートブロック
交流過電流	検出レベル 検出時間 解列箇所	35.0A(整定値固定) 0.4秒(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック
逆電力 RPR	検出レベル 検出時間 解列箇所	200W 0.5秒以内(整定値固定) 機械的開閉箇所+ゲートブロック

・無効電力発振抑制機能に対応済み

8. 製品内容

8-1. 本体



名称	仕様
太陽光入力部開閉器	・旭東電気、500V
コンバータ入出力端子台	・速結端子
系統入出力端子台	・速結端子
自立出力端子台	・速結端子
通信・制御用端子	・速結端子
逆潮流CT用端子台	・速結端子
内部換気ファン	・DC24V PWM駆動 交換可能部品

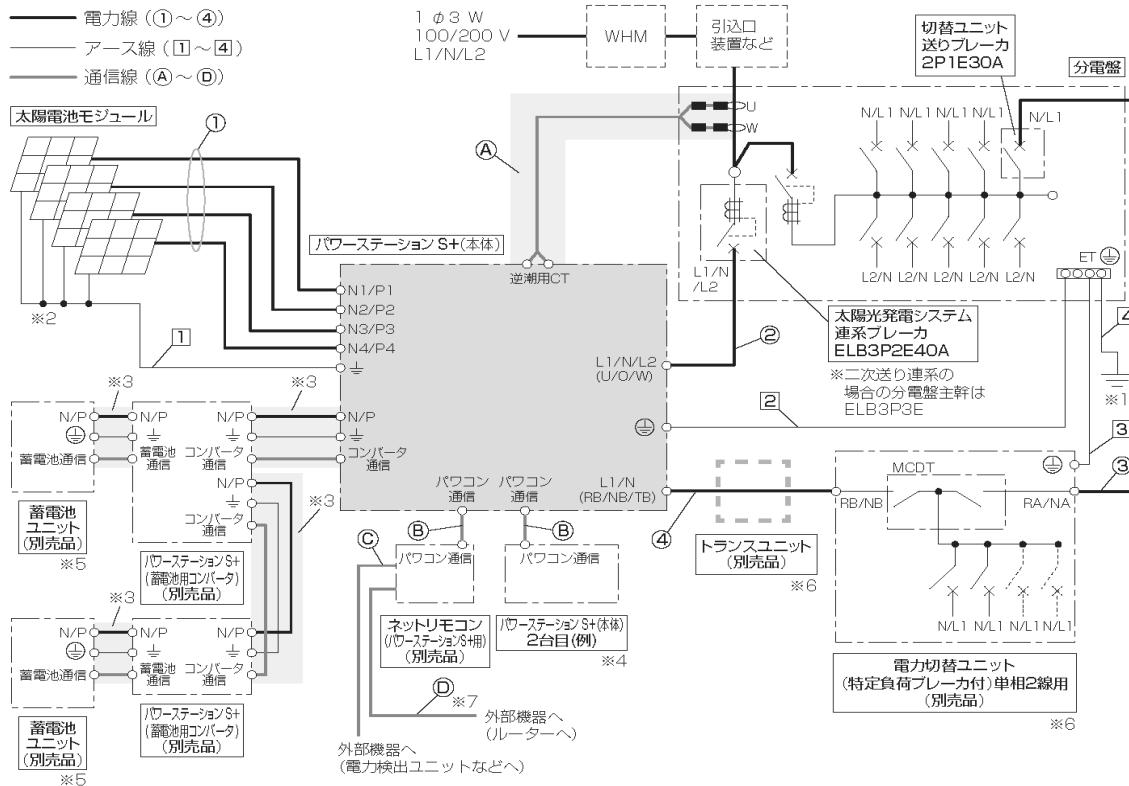
8-2. 付属品

パワーステーションS+(本体)

部品名	個数	部品名	個数
取付板	1	パテ(200g)	1
取付板固定ネジ5.5×80(ハイローネジ)	11	工事用型紙	1
保護ガード(上)	1	施工チェックシート	1
保護ガード固定ネジM4×10	4	検査成績書	1
開閉器用圧着端子(5.5-AF4A-S)	8	施工説明書	1
開閉器用端子カバー	4	自立運転コンセントラベル	1
絶縁チューブ(TCM-53)	4/4(赤/青)	施工業者連絡先記入ラベル	1
主幹電流センサφ16(最大電流150A)	2	かんたんガイド	1
CT接続用ワンタッチコネクタ	4	取扱説明書(保証書付き)	1

9. 配線図

9-1. システム配線例



<電力線>

電力線	配電方式	推奨電線種(推奨最大電線長)
①	DC	太陽電池モジュール用ケーブル 20 m(最大4入力系統)
②	1 φ 3 W	CV 3 心 8 mm ² (最大20 m)、14 mm ² (最大25 m)
③	1 φ 2 W	VV 2 心 5.5 mm ² (最大5 m)、8 mm ² (最大8 m)
④	1 φ 2 W	CV 2 心 5.5 mm ² × 15 m、8 mm ² × 25 m

<接地線>

接地線	推奨電線種
①	IV 1 心 φ 2.6 / 5.5 mm ²
②	IV 1 心 φ 2.6 / 5.5 mm ²
③	IV 1 心 φ 1.6 / 2 mm ²
④	IV 1 心 8.0 mm ²

<通信線>

通信線	推奨電線種(推奨最大電線長)
Ⓐ	FCPEV φ 0.9-2P(最大30 m)
Ⓑ	FCPEV φ 0.9-2P(最大30 m)
Ⓒ	FCPEV φ 0.9-1P(最大50 m)
Ⓓ	LANケーブル ストレート、CAT5E準拠以上、RJ45 コネクタ

※ 1 接地 ④の工事は「電気設備に関する技術基準」や「内線規程」に従い、C種またはD種接地工事を確実に行ってください。

●C種接地工事: 接地抵抗値 10 Ω以下

●D種接地工事: 接地抵抗値 100 Ω以下

太陽電池モジュール1系統の開放電圧が300 Vを超える場合は、C種接地工事になります。

ただし、C種、D種共に低圧電路において、当該電路に地絡を生じた場合に、感度電流100 mA以下、

0.5秒以内に自動的に電路を遮断する装置を施設するときは、接地抵抗値は500 Ω以下に緩和されます。

より安全性を高めるために接地抵抗値100 Ω以下の接地工事をお願いします。

※ 2 太陽電池モジュールの接地はパワーステーションS+(本体)までの配線距離が長い場合、直接接地工事も可能です。

※ 3 パワーステーションS+(蓄電池用コンバータ)の施工説明書をご参照ください。

※ 4 パワーステーションS+(本体)の増設例です。

太陽光パワーコンディショナは、ネットリモコン背面のRS-485(1・2)端子を使用して増設します。

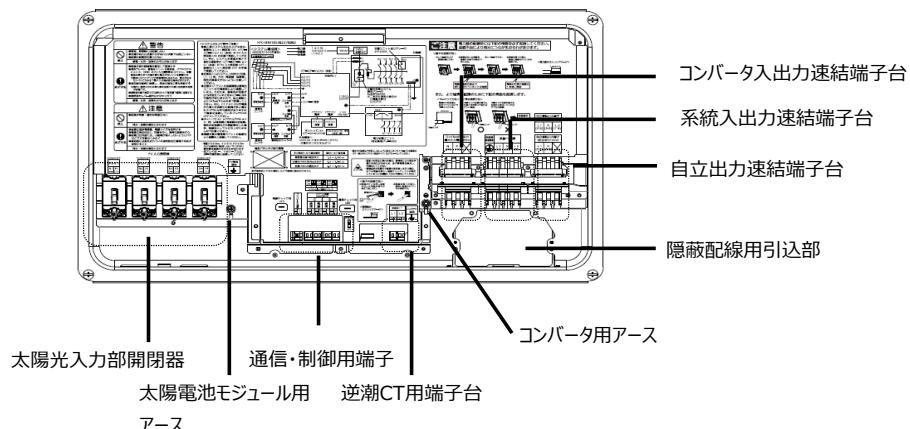
※ 5 設置環境に合った、蓄電池ユニットを選択してください。

※ 6 自立出力設定200 V選択時は、トランスユニットの施工説明書を確認のうえ施工してください。

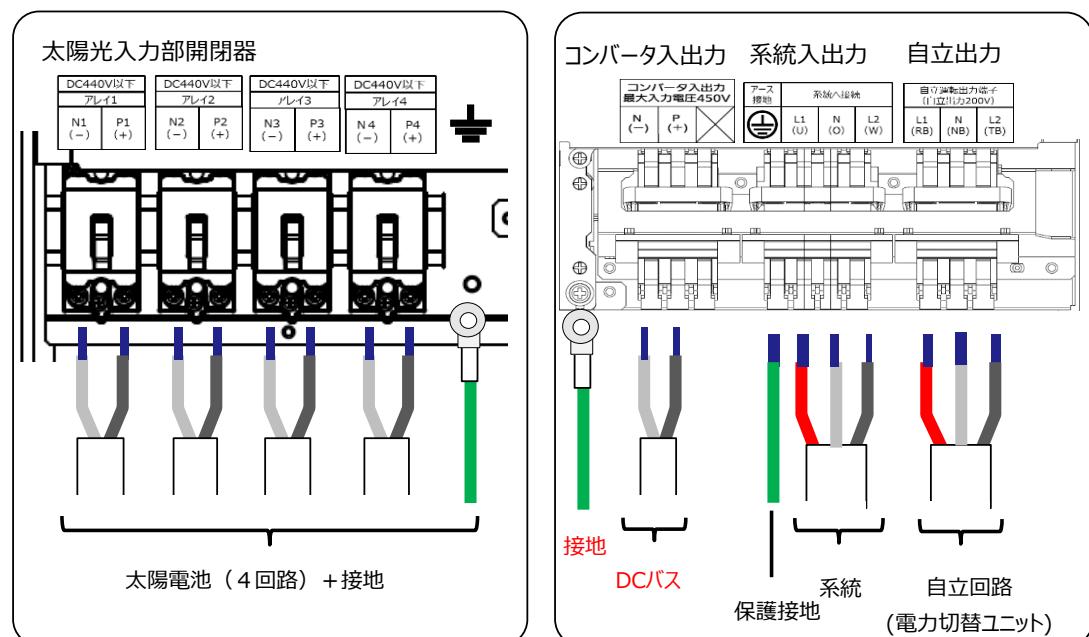
電力切替ユニットは単相3線用をご使用ください。使用する電力線などはトランスユニットの施工説明書をご確認ください。電力切替ユニット(60 Aタイプ)の分電盤一次側設置では、配線が異なります。

※ 7 ネットリモコンとルーター間は無線LAN接続が可能です。

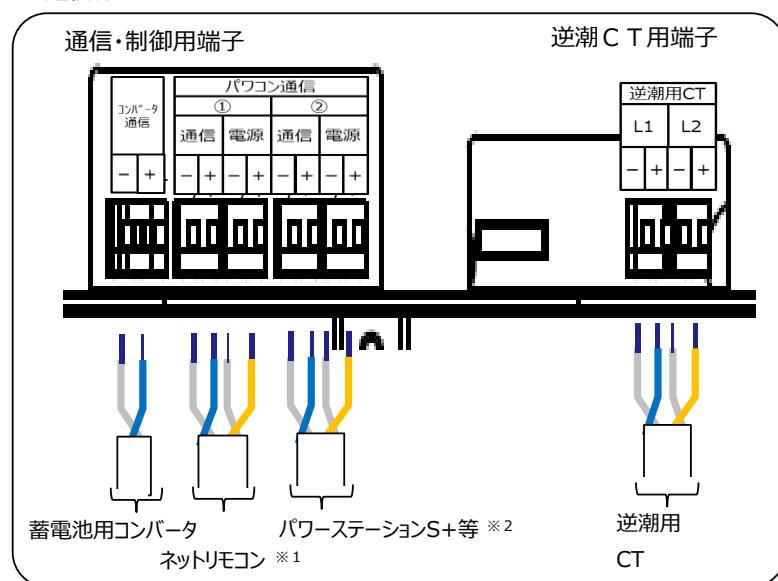
9-2. 端子配線図



<電力線>



<通信線>



※ 自立出力端子

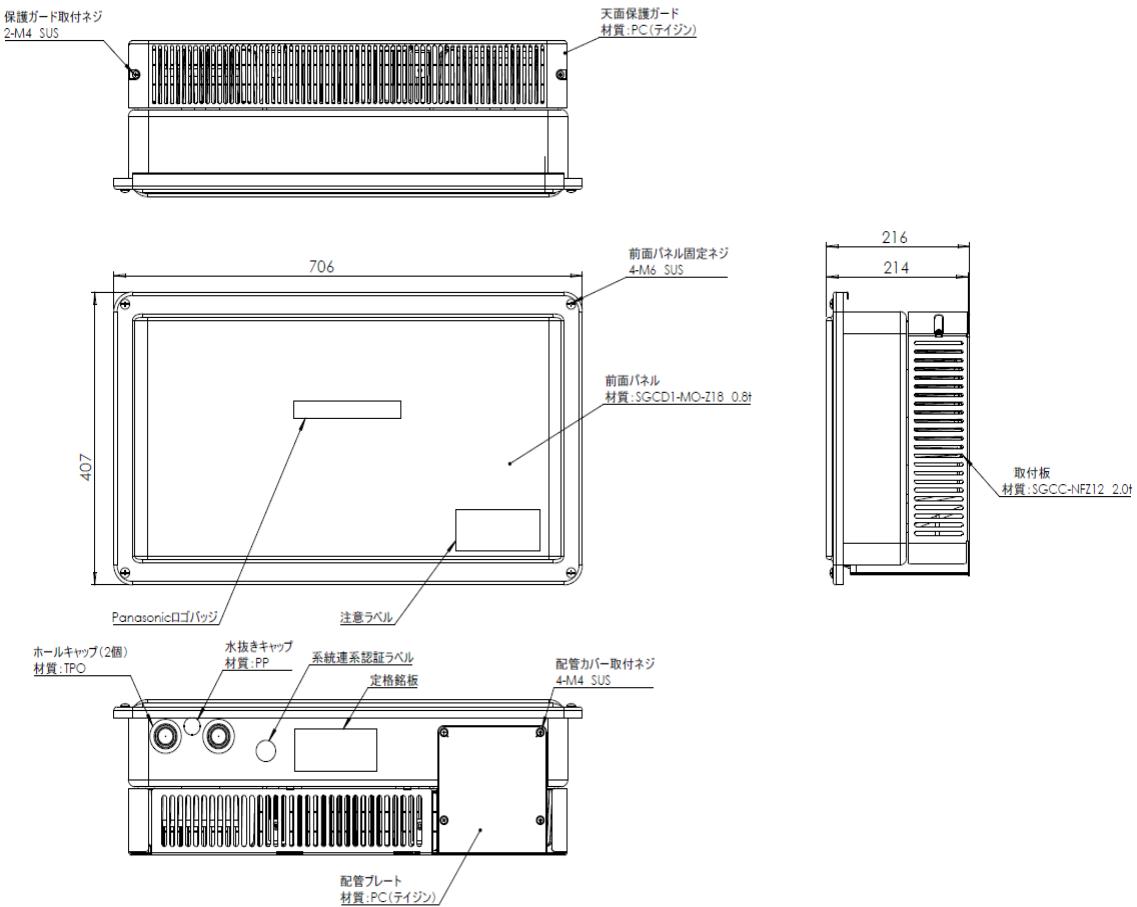
単相2線100V設定の場合は、
L1/N端子を必ず使用してください。
(L2端子は使用禁止)

※1 2台目のパワーステーションS+のパワーコン通信①は1台目のパワーコン通信②と接続

※2 2台目のパワーステーションS+や増設パワーコンと接続する場合

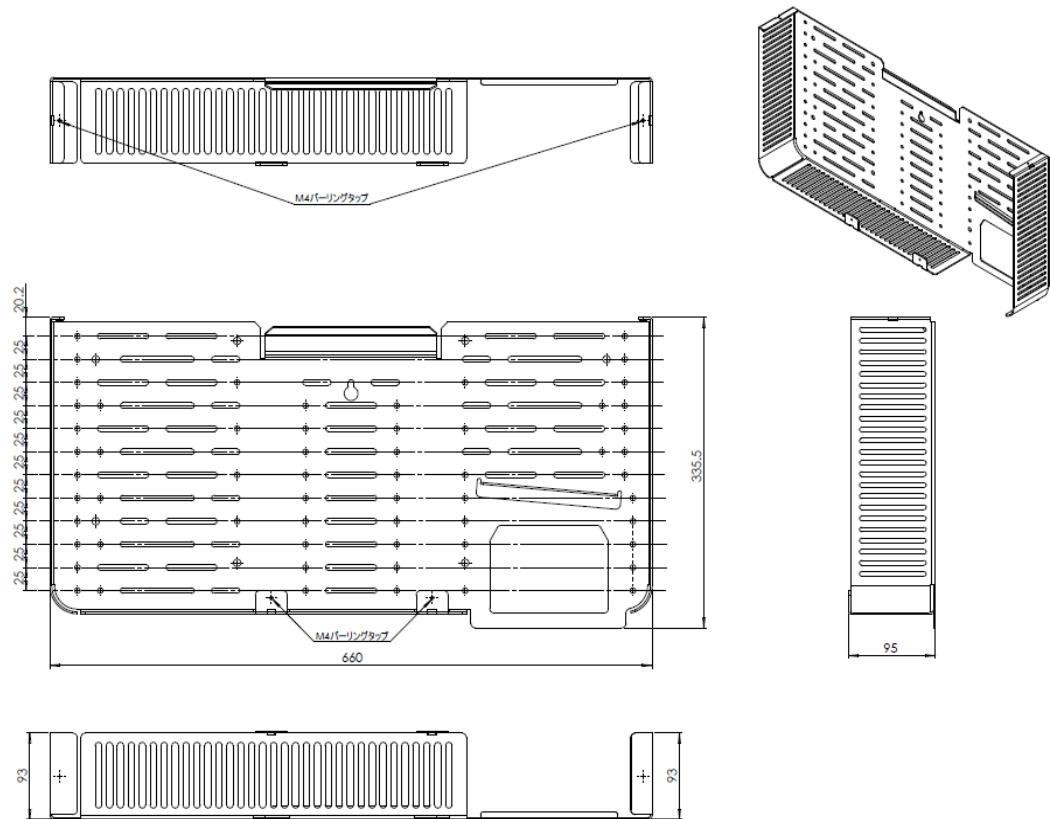
10. 外形寸法

10-1. 本体寸法



部品名	材質	処理(一般)	処理(耐塩害)	塗装色	質量
フロントパネル	SGCD1-MO-Z12	一般塗装	耐塩害塗装	ウォームシルバー	合計
本体	SGCD3-MO-Z19	一般塗装	耐塩害塗装	ウォームグレー	26kg

10-2. 取付板寸法(付属品)



部品名	材質	処理(一般)	処理(耐塩害)	塗装色	質量
取付板	SGCC-MO-Z18	一般塗装	耐塩害塗装	ウォームグレー	約4kg

創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)

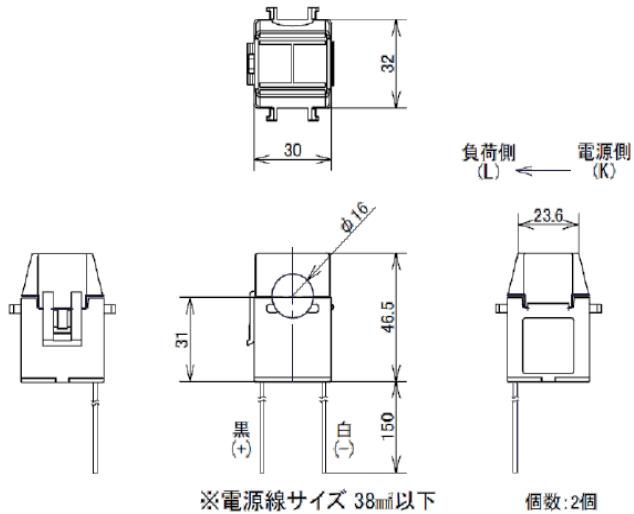
品番:LJRC41/LJRC42

商品仕様書

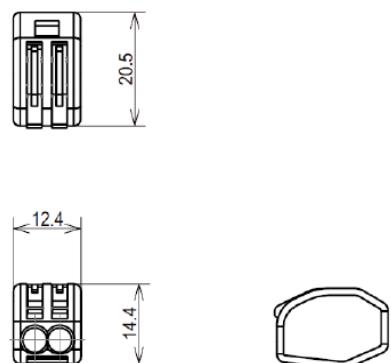
No. 15

全20

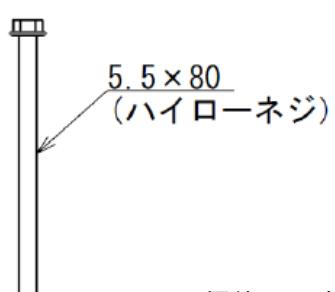
10-3. 逆潮流用CT



<CT接続用ワンタッコネクタ>



10-4. 取付板固定ネジ 5.5×80



11. 定格銘板

11-1. 定格ラベル

Panasonic 品番 LJRC41 パワーステーションS+ (本体・5.5kW・一般)	
太陽電池	自立
入力運転電圧範囲	出力定格電圧 AC202V/101V
DCバス	出力定格電流 20A/27.5A
最大入出力電圧	接続相線 2W+N/1W+N
系統連系	出力定格皮相電力 4.0kVA/2.75kVA
接続相線	定格周波数 50/60Hz
入出力定格電圧	使用温度範囲 -20~50°C
定格周波数	製造年月日 191121
出力定格電流	製造番号 19L10185A
入力定格電流	
出力定格有効電力	
出力定格皮相電力	
BM1-2-1337-566002	パナソニック株式会社 三洋電機株式会社 日本製

Panasonic 品番 LJRC42 パワーステーションS+ (本体・5.5kW・耐塩)	
太陽電池	自立
入力運転電圧範囲	DC 40 - 450 V
DCバス	出力定格電圧 AC202V/101V
最大入出力電圧	出力定格電流 20A/27.5A
系統連系	接続相線 2W+N/1W+N
接続相線	出力定格皮相電力 4.0kVA/2.75kVA
入出力定格電圧	定格周波数 50/60Hz
定格周波数	使用温度範囲 -20 ~ 50°C
出力定格電流	製造年月日 191121
入力定格電流	製造番号 19L10185A
出力定格有効電力	
出力定格皮相電力	パナソニック株式会社
BM1-2-1337-569001	製造元 三洋電機株式会社 日本製

注記

1. 印刷文字色は黒色(マンセルN1)とする

2. 製造年月日は6桁表記とする。

例:2019年11月21日の場合の製造年月日⇒191121

3. 製造番号は下記のとおりとする。

① 1~2桁目: 製造年の下2桁(2019年⇒19···)

② 3桁目: 製造月の英字1桁 (1月⇒A 2月⇒B 3月⇒C ...)

③ 4~8桁目：製造番号連番5桁(製造年ごとに00001より採番)

④ 9桁目: Ver管理の英字1桁Aから順次繰り上げ(A, B, C, ...,)。※ I, O, Zは使用しない。

例: 2019年11月の生産台数10185台目の場合の製造番号⇒19L10185A

- #### 4. 小・プリッカ対応仕様(Step3)識別マーク

創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)

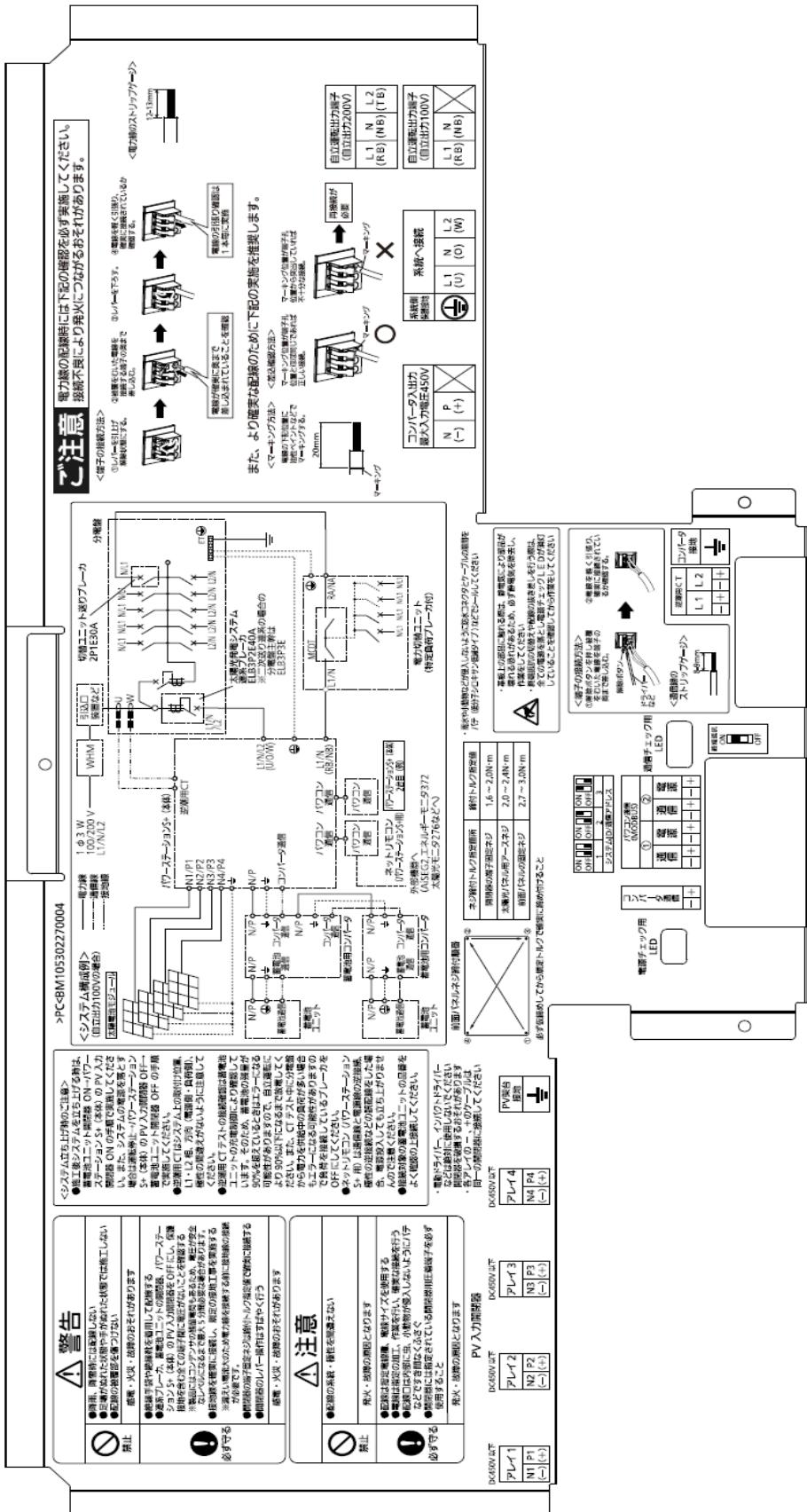
品番:LJRC41／LJRC42

No. 17

全20

商品仕様書

11-2. 保護シート印刷図



12. 接続機器

<パワーステーションS+（本体・5. 5kW・一般） LJRC41>

- ・ネットリモコン（パワーステーションS+用） LJNR01A
- ・パワーステーションS+（3. 5kWh屋内蓄電池用コンバータ・一般） LJDB151
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（3. 5kWh・屋内） LJB1235
　※蓄電池用コンバータLJDB151に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（5. 6kWh屋内蓄電池用コンバータ・一般） LJDB201
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（5. 6kWh・屋内） LJB1256
　※蓄電池用コンバータLJDB201に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（5. 6kWh屋側蓄電池用コンバータ・一般） LJDC201
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（5. 6kWh・屋側） LJB2256
　※蓄電池用コンバータLJDC201に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（6. 3kWh屋側蓄電池用コンバータ・一般） LJDC201A
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（6. 3kWh・屋側） LJB2263
　※蓄電池用コンバータLJDC201Aに接続し、これを経由して本体に接続
- ・200Vトランスユニット（パワーステーションS+用・4kVA・据置） LJTR241
　－200Vトランスユニット（パワーステーションS+）用壁掛け架台 LJMT53
　※LJTR241は本体が自立出力単相3線100/200V設定時に必要
　※LJMT53はLJTR241の壁掛け設置時オプション

<パワーステーションS+（本体・5. 5kW・耐塩） LJRC42>

- ・ネットリモコン（パワーステーションS+用） LJNR01A
- ・パワーステーションS+（3. 5kWh屋内蓄電池用コンバータ・耐塩） LJDB152
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（3. 5kWh・屋内） LJB1235
　※蓄電池用コンバータLJDB152に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（5. 6kWh屋内蓄電池用コンバータ・耐塩） LJDB202
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（5. 6kWh・屋内） LJB1256
　※蓄電池用コンバータLJDB202に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（5. 6kWh屋側蓄電池用コンバータ・耐塩） LJDC202
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（5. 6kWh・屋側・耐塩） LJB3256
　※蓄電池用コンバータLJDC202に接続し、これを経由して本体に接続
- ・パワーステーションS+（6. 3kWh屋側蓄電池用コンバータ・耐塩） LJDC202A
　－リチウムイオン蓄電池ユニット（6. 3kWh・屋側） LJB2263
　※蓄電池用コンバータLJDC202Aに接続し、これを経由して本体に接続
- ・200Vトランスユニット（パワーステーションS+用・4kVA・据置） LJTR241
　－200Vトランスユニット（パワーステーションS+）用壁掛け架台 LJMT53
　※LJTR241は本体が自立出力単相3線100/200V設定時に必要
　※LJMT53はLJTR241の壁掛け設置時オプション

創蓄連携システム S+ パワーステーションS+(本体)

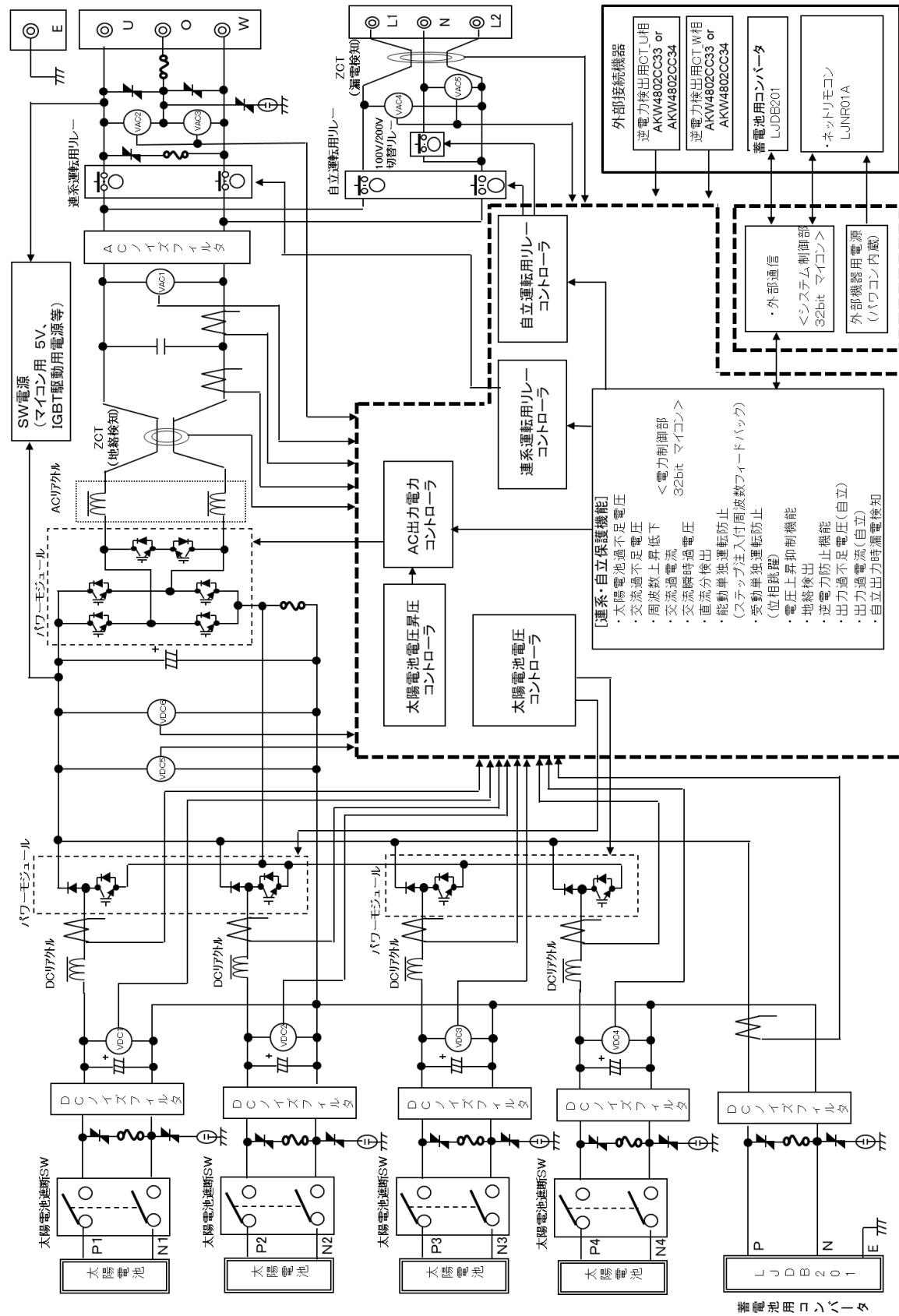
品番:LJRC41／LJRC42

No. 19

全20

商品仕様書

13. 主回路構成図

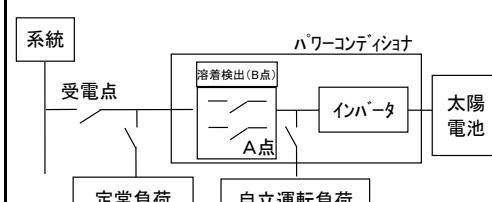


商品仕様書

No. 20

全20

14. 系統連系保護協調チェックリスト

項目	ガイドラインの基本的な考え方	LJRC41	適合
1. 電気方式	原則として連系する系統の電気方式と同一とする。 但し、単相3線式の系統に単相2線式200Vの発電設備を連系する場合は、中性線に対する両側の電圧を監視する2相のOVRを設置する。	連系側電気方式: 単相3線式 出力側電気方式: 単相2線式200V 但し、2相のOVR(出荷時整定値115V)を系統連系保護機能として内蔵。	適
2. 力率	原則として、受電点における力率は85%以上とする。 ただし、低圧配電線との連系の場合には、発電設備の力率を95%以上とすれば良い。	定格出力: 5.5kW 力率: 95%以上 無効電力制御: あり	適
3. 保護装置の設置	系統連系保護装置として以下の保護絶電器を設置する。 (1)発電設備の故障 ①過電圧絶電器(OVR) ②不足電圧絶電器(UVR) (2)電力系統短絡事故 ①不足電圧絶電器(UVR) (3)単独運転防止 ①周波数上昇絶電器(OFR) ②周波数低下絶電器(UFR) ③単独運転検出機能 受動的方式及び能動的方式のそれぞれ 一方式以上を含む。	発電設備自家の保護装置により検出・保護を行う。 (1)発電設備の故障 ①過電圧絶電器(OVR) あり ②不足電圧絶電器(UVR) あり (2)電力系統短絡事故 ①不足電圧絶電器(UVR) (1)の(2)と兼用 (3)単独運転防止 ①周波数上昇絶電器(OFR) あり ②周波数低下絶電器(UFR) あり ③単独運転検出機能 受動的方式 電圧位相跳躍 能動的方式 ステップ注入付周波数フィードバック方式	適
4. 保護絶電器の設置場所	保護絶電器は受電端又は故障の検出が可能な場所(発電設備の出力端)に設置する。	発電設備に内蔵(認証品) 発電設備の出力端にて検出。	適
5. 解列箇所	(1)連系運転 解列は機械的な開閉箇所2箇所又は機械的な開閉箇所1箇所及び逆変換装置のゲートブロック等により行うこととする。 (2)自立運転 解列は次のいずれかにより行うこととする。 ア. 機械的な開閉箇所2箇所、又は、機械的な開閉箇所1箇所及び手動操作による開閉箇所1箇所 イ. 機械的な開閉箇所1箇所とともに、次の全ての機構 (ア)系統停止時に誤投入防止機構 (イ)機械的開閉箇所故障時の自立運転移行阻止機能 (ウ)連系復帰時の非同期投入防止機構	(1)連系運転 A点、B点で解列(ゲートブロック併用) (2)自立運転 A点、B点で解列(ア. の機械的開閉箇所2箇所) 	適
6. 解列用遮断装置の種類	解列用遮断装置は、電路を機械的に切離し、電気的にも完全な絶縁状態を維持する。	解列箇所A点、B点 解列用遮断装置: Panasonic製 AHES4292 定格電流値35A(2a1b接点)、定格電圧AC277V	適
7. 解列用遮断装置のインターロック	解列用遮断装置は、系統が停止中及び復電後の一定時間には、安全確保のため投入を阻止するように施設し、発電設備が系統へ連系できない機構とする。	系統停止中の遮断装置投入阻止機能 あり 復電後一定時間の遮断装置投入阻止機能 あり 遮断装置投入時間 300秒 (整定値 10.150.300秒、手動復帰)	適
8. 保護絶電器の設置相数	(1)電気方式に関わらず、周波数上昇絶電器、周波数低下絶電器は一相設置とする。 (2)電気方式が単相3線式の場合、過電圧絶電器、不足電圧絶電器は二相(中性線と両電圧線間)設置とする。	(1)周波数上昇絶電器、周波数低下絶電器: 一相設置 (2)過電圧絶電器、不足電圧絶電器: 二相設置 (中性線と両電圧線間)	適
9. 変圧器	逆変換装置から直流が系統へ流出することを防止するために、変圧器を設置するものとする。 ただし、次の条件を共に満たす場合には変圧器の設置を省略することができる。 ①直流回路が非接地である場合又は高周波変圧器を用いる場合。 ②交流出力側に直流検出器を備え、直流検出時に交流出力を停止する機能を持たせる場合	変圧器の設置 なし ①直流回路 非接地 ②直流検出器設置 直流レベル220mA以下(定格出力電流27.5Aの1%以下) 検出時間 0.4秒以内	適
10. 電圧変動	逆変換装置を用いた発電設備を用いる場合であって、発電設備からの逆潮流により低圧需要家電圧が適正値(101±6V, 202±20V)を逸脱するおそれがあるときは、発電設備の設置者において、進相無効電力制御機能又は出力制御機能により自動的に電圧を調整する対策を行う	電圧自動調整機能: あり 方式: 無効電力制御(電圧上昇抑制制御機能)	適
11. 電圧同期	自励式の逆変換装置を用いる場合には、自動的に同期がとれる機能を有するものを用いる。	逆変換装置・自励式 自動同期機能 あり	適

低圧系統連系保護装置等 認証証明書(最新版)

東京都渋谷区代々木5-14-12
一般財団法人電気安全環境研究所(JET)
理事長 薦田 康久



2021年8月10日付け(受付番号P21-0230号)で申込みのありました下記の製品は、低圧系統連系保護装置等認証業務規程第14条3項の認証の要件に適合していると認められるので、認証します。

記

認証取扱者

住所：大阪府門真市大字門真1048番地
氏名：三洋電機株式会社 エネルギーシステムSBU

認証製品を製造する工場

住所：島根県雲南市木次町山方320番地1
工場名：パナソニック ソーラーシステム製造株式会社

認証登録番号：MD-0038

認証登録年月日：2019年10月11日

有効期限：2024年10月10日

試験成績書の番号：第19TR-RC0058号

製品の型名等

認証モデルの名称：系統連系保護装置及び系統連系用インバータ

認証モデルの用途：マルチ入力システム用

認証モデルの型名：別紙参照

認証モデルの仕様

1) 連系対象電路の電気方式等

- a. 電気方式：単相2線式(単相3線式配電線に接続)
- b. 電圧：202V
- c. 周波数：50／60Hz

2) 出力、皮相電力、指定力率

- a. 最大出力：最大指定皮相電力:5.8kVA, 最大指定出力:5.5kW
- b. 出力(出荷時の力率にて)：皮相電力:5.8kVA, 出力:5.5kW
- c. 指定力率：裏面に記載

3) 系統電圧制御方式：電圧型電流制御方式

4) 連系保護機能の種類

- a. 逆潮流の有無：有
(逆電力防止機能の有無)：有
- b. 単独運転防止機能
 - (a) 能動的方式：ステップ注入付周波数フィードバック方式
 - (b) 受動的方式：電圧位相跳躍検出方式
- c. 直流分流出防止機能の有無：有
- d. 電圧上昇抑制機能：進相無効電力制御及び出力制御

5) 保護機能の整定範囲及び整定値：裏面に記載

- 6) a. 適合する直流入力電圧範囲：
太陽電池入力:40～450V
蓄電池入力:88～113.4V
電気自動車搭載蓄電池入力:—
- b. 適合する直流入力数：
太陽電池入力:4
蓄電池入力:1
電気自動車搭載蓄電池入力:—

7) 自立運転の有無：有

8) 力率一定制御の有無：有

9) ソフトウェア管理番号：別紙参照

特記事項：別紙参照

(裏面に続く)

保 護 機 能 の 仕 様 及 び 標 準(整 定) 値 (標準値は、出荷時の整定値です。)

保 護 機 能		標準値		
交流過電流 ACOC	検出レベル	35.0A		
	検出時間	0.4秒		
直流分流出検出	検出レベル	220mA		
	検出時間	0.4秒		

保 護 機 能		標準値			
		太陽電池回路部	蓄電池回路部	電気自動車等搭載蓄電池回路部	直流バス部
直流過電圧 DCOVR	検出レベル	—	—	—	455V
	検出時間	—	—	—	0.3秒
直流不足電圧 DCUVR	検出レベル	—	—	—	280V
	検出時間	—	—	—	0.4秒

保 護 リ レ ー の 仕 様 及 び 標 準(整 定) 値 (標準値は、出荷時の整定値です。)

保 護 リ レ ー		標準値	整 定 範 囲
交流過電圧 OVR	検出レベル	115.0V	110.0~120.0V, 2.5V Step
	検出時間	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒
交流不足電圧 UVR	検出レベル	80.0V	80.0~90.0V, 2.5V Step
	検出時間	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒
周波数上昇 OFR	検出レベル	50Hz	50.5~52.5Hz, 0.5Hz Step
		60Hz	60.6~63.0Hz, 0.6Hz Step
	検出時間	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒
周波数低下 UFR	検出レベル	50Hz	47.5~49.5Hz, 0.5Hz Step
		60Hz	57.0~59.4Hz, 0.6Hz Step
	検出時間	2.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒
逆電力 RPR	検出レベル	200W	—
	検出時間	0.5秒	—
逆電力 蓄電池GB	検出レベル	—	—
	検出時間	—	—
逆電力 電気自動車等搭載 蓄電池GB	検出レベル	—	—
	検出時間	—	—
復電後一定時間の遮断装置投入阻止		300秒	150, 300, 5秒, 手動復帰
電圧上昇抑制機能	検出レベル (進相無効電力制御 ／出力制御)	109.0/109.0V	107.0/107.0, 107.5/107.5, 108.0/108.0, 108.5/108.5, 109.0/109.0, 109.5/109.5, 110.0/110.0, 110.5/110.5, 111.0/110.0, 111.5/111.5, 112.0/112.0, 112.5/112.5, 113.0/113.0V
	出力抑制値	0%	0%

設 定 力 率 (標準値は、出荷時の設定値です。)

力率一定制御 (指定力率)		標準値	設 定 範 囲
		0.95	0.95~1.00, 0.01 Step

単 独 運 転 検 出 機 能 の 仕 様 及 び 標 準(整 定) 値 (標準値は、出荷時の整定値です。)

検 出 方 式		整 定 値	整 定 範 囲
受動的方式	電圧位相跳躍検出方式	検出レベル	8°
		検出要素	電圧位相
		検出時間	0.5秒
		保持時間	—
能動的方式	ステップ注入付周波数フィードバック方式	検出レベル	1.2Hz
		検出要素	周波数変動
		検出時間	瞬 時

速 断 用 (瞬 時) 過 電 圧 の 標 準(整 定) 値 (標準値は、出荷時の整定値です。)

保 護 リ レ ー		標準値
瞬時交流過電圧	検出レベル	130V
	検出時間	0.1秒

(認 証 証 明 書 記 載 事 項 変 更 履 歴)

別 紙 の と お り

認証登録番号:MD-0038

(別紙)

認証モデルの型名:

パワコン型式:LJRC41, LJRC42, LJRC41050, LJRC42050, SHRC55A-SN 及び SHRC55AS-SN

パワコン型式とシステム型式の詳細:

一般品

システム型式	パワコン 型式	コンバータ1 型式	蓄電池1 型式	コンバータ2 型式	蓄電池2 型式	リモコン 設定器
PLJ-RC41	LJRC41	—	—	—	—	LJNR01A
PLJ-RC41035	LJRC41	LJDB151	LJB1235	—	—	LJNR01A
PLJ-RC41056	LJRC41	LJDB201	LJB1256	—	—	LJNR01A
PLJ-RC41070	LJRC41	LJDB151	LJB1235	LJDB151	LJB1235	LJNR01A
PLJ-RC41091	LJRC41	LJDB151	LJB1235	LJDB201	LJB1256	LJNR01A
PLJ-RC41112	LJRC41	LJDB201	LJB1256	LJDB201	LJB1256	LJNR01A
PLJ-RC41050	LJRC41050	—	—	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC41035050	LJRC41050	LJDB151050	LJB1235050	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC41056050	LJRC41050	LJDB201050	LJB1256050	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC41070050	LJRC41050	LJDB151050	LJB1235050	LJDB151050	LJB1235050	LJNR01A050
PLJ-RC41091050	LJRC41050	LJDB151050	LJB1235050	LJDB201050	LJB1256050	LJNR01A050
PLJ-RC41112050	LJRC41050	LJDB201050	LJB1256050	LJDB201050	LJB1256050	LJNR01A050
PSH-RC41035-SN	SHRC55A-SN ^①	SHDB35A-SN ^②	SHBU35A-SN ^④	—	—	本体同梱 ^⑥
PSH-RC41056-SN	SHRC55A-SN ^①	SHDB56A-SN ^③	SHBU56A-SN ^⑤	—	—	本体同梱 ^⑥
PSH-RC41070-SN	SHRC55A-SN ^①	SHDB35A-SN ^②	SHBU35A-SN ^④	SHDB35A-SN ^②	SHBU35A-SN ^④	本体同梱 ^⑥
PSH-RC41091-SN	SHRC55A-SN ^①	SHDB35A-SN ^②	SHBU35A-SN ^④	SHDB56A-SN ^③	SHBU56A-SN ^⑤	本体同梱 ^⑥
PSH-RC41112-SN	SHRC55A-SN ^①	SHDB56A-SN ^③	SHBU56A-SN ^⑤	SHDB56A-SN ^③	SHBU56A-SN ^⑤	本体同梱 ^⑥
PLJ-RC41056A	LJRC41	LJDC201	LJB2256	—	—	LJNR01A
PLJ-RC41091A	LJRC41	LJDB151	LJB1235	LJDC201	LJB2256	LJNR01A
PLJ-RC41112A	LJRC41	LJDB201	LJB1256	LJDC201	LJB2256	LJNR01A
PLJ-RC41112B	LJRC41	LJDC201	LJB2256	LJDC201	LJB2256	LJNR01A
PLJ-RC41063A	LJRC41	LJDC201A	LJB2263	—	—	LJNR01A
PLJ-RC41098A	LJRC41	LJDB151	LJB1235	LJDC201A	LJB2263	LJNR01A
PLJ-RC41119A	LJRC41	LJDB201	LJB1256	LJDC201A	LJB2263	LJNR01A
PLJ-RC41126A	LJRC41	LJDC201A	LJB2263	LJDC201A	LJB2263	LJNR01A

認証登録番号:MD-0038

耐塩害品

システム型式	パワコン 型式	コンバータ1 型式	蓄電池1 型式	コンバータ 2 型式	蓄電池2 型式	リモコン 設定器
PLJ-RC42	LJRC42	—	—	—	—	LJNR01A
PLJ-RC42035	LJRC42	LJDB152	LJB1235	—	—	LJNR01A
PLJ-RC42056	LJRC42	LJDB202	LJB1256	—	—	LJNR01A
PLJ-RC42070	LJRC42	LJDB152	LJB1235	LJDB152	LJB1235	LJNR01A
PLJ-RC42091	LJRC42	LJDB152	LJB1235	LJDB202	LJB1256	LJNR01A
PLJ-RC42112	LJRC42	LJDB202	LJB1256	LJDB202	LJB1256	LJNR01A
PLJ-RC42050	LJRC42050	—	—	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC42035050	LJRC42050	LJDB152050	LJB1235050	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC42056050	LJRC42050	LJDB202050	LJB1256050	—	—	LJNR01A050
PLJ-RC42070050	LJRC42050	LJDB152050	LJB1235050	LJDB152050	LJB1235050	LJNR01A050
PLJ-RC42091050	LJRC42050	LJDB152050	LJB1235050	LJDB202050	LJB1256050	LJNR01A050
PLJ-RC42112050	LJRC42050	LJDB202050	LJB1256050	LJDB202050	LJB1256050	LJNR01A050
PSH-RC42035-SN	SHRC55AS-SN ⁷⁾	SHDB35AS-SN ⁸⁾	SHBU35A-SN ⁴⁾	—	—	本体同梱 ⁶⁾
PSH-RC42056-SN	SHRC55AS-SN ⁷⁾	SHDB56AS-SN ⁹⁾	SHBU56A-SN ⁵⁾	—	—	本体同梱 ⁶⁾
PSH-RC42070-SN	SHRC55AS-SN ⁷⁾	SHDB35AS-SN ⁸⁾	SHBU35A-SN ⁴⁾	SHDB35AS-SN ⁸⁾	SHBU35A-SN ⁴⁾	本体同梱 ⁶⁾
PSH-RC42091-SN	SHRC55AS-SN ⁷⁾	SHDB35AS-SN ⁸⁾	SHBU35A-SN ⁴⁾	SHDB56AS-SN ⁹⁾	SHBU56A-SN ⁵⁾	本体同梱 ⁶⁾
PSH-RC42112-SN	SHRC55AS-SN ⁷⁾	SHDB56AS-SN ⁹⁾	SHBU56A-SN ⁵⁾	SHDB56AS-SN ⁹⁾	SHBU56A-SN ⁵⁾	本体同梱 ⁶⁾
PLJ-RC42056A	LJRC42	LJDC202	LJB3256	—	—	LJNR01A
PLJ-RC42091A	LJRC42	LJDB152	LJB1235	LJDC202	LJB3256	LJNR01A
PLJ-RC42112A	LJRC42	LJDB202	LJB1256	LJDC202	LJB3256	LJNR01A
PLJ-RC42112B	LJRC42	LJDC202	LJB3256	LJDC202	LJB3256	LJNR01A
PLJ-RC42063A	LJRC42	LJDC202A	LJB2263	—	—	LJNR01A
PLJ-RC42098A	LJRC42	LJDB152	LJB1235	LJDC202A	LJB2263	LJNR01A
PLJ-RC42119A	LJRC42	LJDB202	LJB1256	LJDC202A	LJB2263	LJNR01A
PLJ-RC42126B	LJRC42	LJDC202A	LJB2263	LJDC202A	LJB2263	LJNR01A

- 1) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJRC41 と同一。
- 2) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJDB151 と同一。
- 3) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJDB201 と同一。
- 4) OEM 型式、ラベル以外は、LJB1235 と同一。
- 5) OEM 型式、ラベル以外は、LJB1256 と同一。
- 6) OEM 型式、ラベル以外は、LJNR01A と同一。
- 7) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJRC42 と同一。
- 8) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJDB152 と同一。
- 9) OEM 型式、フロントパネル形状及び色、ラベル以外は、LJDB202 と同一。

認証登録番号:MD-0038

ソフトウェア管理番号:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.02) 電力制御マイコン(Ver1.02)

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,
SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.03), LJDC201, LJDC202(Ver2.01)

及び LJDC201A, LJDC202A(Ver3.01)

リモコン設定器:

LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.20) 及びパワコン本体同梱部品(Ver1.20)

特記事項:

FRT 要件対応、遠隔出力制御(広義)対応及び無効電力発振抑制機能対応

蓄電池部:

型 番;LJB1235/LJB1235050/SHBU35A-SN	蓄電池容量;3.5kWh	登録番号;1550-C9906-292
型 番;LJB1256/LJB1256050/SHBU56A-SN	蓄電池容量;5.6kWh	登録番号;0133-C9906-195
型 番;LJB2256/LJB3256	蓄電池容量;5.6kWh	登録番号;1550-C9906-313
型 番;LJB2263	蓄電池容量;6.389kWh	登録番号;1770-C9906-319

逆電力検用 CT:

型 番;AKW4802CC33(φ16) 製造者名; パナソニック株式会社

型 番;AKW4803CC34(φ24) 製造者名; パナソニック株式会社

連系／自立切替 SW:

[自立出力 単相 2 線 100V 設定時]

自立出力トランス;設定無

連系／自立切替 SW;LJP623K, LJP62322, LJP6234, LJP6234050, LJTS2322, LJTS234050,
LJTS234(単相 2 線)

[自立出力 単相 3 線 200V 設定時]

自立出力トランス;LJTR241, LJTR241050, SHTR01-SN(LJTR241 の OEM 型式)

連系/自立切替 SW;LJP633K, LJP63353, LJP633K050, LJP6338050, LJTS1601, LJTS1601050,
LJTS1621050, LJTS1621, LJTS3353, LJTS338050(単相 3 線)

認証登録番号:MD-0038

出力制御装置の型名:別表参照

逆潮流防止用 CT の型名:別表参照

遠隔出力制御(広義)の組み合わせの詳細は別表の通りである

(別表)

パワー コンディショナ (狭義)	出力制御装置		逆潮流防止用 CT 本 CT は、出力制御装置が 逆潮流防止制御を行う場合 に使用される。
	型名	ソフトウェア 管理番号	
認証モデル の型名参照	モニタレス出力制御装置 275※a		
	(制御/通信/ユーザインターフェース/計測 UT) VBPW275, GP-PCM4A-TX, HQJP-MUK-A2, CSPSUC, SPW275, SPW275-SN, SPW275-EX, SPW275-NX, YL-SPW275	vbpw274out-5	AKW4802CC26, AKW4803CC26
	モニタレス出力制御装置 276※a		
	(制御/通信/ユーザインターフェース/計測 UT) VBPW276, MCSM-P04, CSPDUD, HQJP-MUKA-3, GP-PCM5A-TX, YLE-PCM4TX, SPW276-NX, SPW276T-NX, SPW276-SN, SPW276-DM, SPW276T-DM, YL-SPW276, YL-SPW276T, LP-SULH-SDB, SPW276-LP, EHSPTU-C, EHWQUTU-C, SPW276-EX, SDU276	vbpw276out-4	AKW4802CC26, AKW4803CC26
	モニタレス出力制御装置 277※a		
	(制御/通信/ユーザインターフェース/計測 UT) VBPW277, MCSM-P05	vbpw276out-4	AKW4802CC26, AKW4803CC26
	モニタ付 output 制御装置 372※a		
	(制御/計測 UT) VBPW372, VBPW372A	vbpw372out-1	CTF-16-PA, CTF-13NF-PA
	(通信/ユーザインターフェース UT) VBPM372C, VBPM371C	vbpw372cout-5	
	MD-0038+専用リモコン単独※a		
	(制御/通信/ユーザインターフェース UT) MD-0038 同梱リモコン, LJNR01A, LJNR01A050	Lj-nr01out-1 Lj-nr01NA-3	
	(計測 UT) MD-0038 内蔵計測回路	狭義 PCS と同じ	逆電力検出用 CT 参照
	MD-0038+専用リモコンシステム※a		
	(制御 UT) MD-0038 同梱リモコン, LJNR01A, LJNR01A050	Lj-nr01out-1 Lj-nr01NA-3	
	(通信/ユーザインターフェース UT) MKN713, MKN713050, MKN704, MKN704050, MKN705	mkn713out-5	
	(計測 UT1) MKN732K	mkn732kout-1	CTF-16-PA, CTF-13NF-PA
	(計測 UT2) MKN7300S1+MKN7300S2, MKH73001S1+MKN7300S2, MKH73002S1+MKN7300S2	mkn7300s2out-1	C/CT-1216-061
	(計測 UT3) MKN7360S1, MKN7350S1, MKN733	mkn7360s1out-2	C/CT-1216-061
	補足事項	・制御 UT, 通信 UT, ユーザインターフェース UT, 計測 UT の組み合わせで出力制御装置として機能する。 ※a ノンファーム接続スケジュール対応	

認証登録番号:MD-0038

(認証証明書記載事項変更履歴) ※JET 確認書発行年月日／変更実施年月日

1.2019年10月28日／2019年10月28日

①特記事項の変更:(別表)補足事項における※1の記載変更及び※4削除

2.2020年2月4日／2020年2月4日

①ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.01) 電力制御マイコン(Ver1.01)

充放電コンバータ(Ver1.01)

リモコン設定器:LJNR01A(Ver1.00)

3.2020年2月27日／2020年2月27日

①認証モデルの型式追加:LJRC41050, LJRC42050を追加

②ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.01) 電力制御マイコン(Ver1.01)

充放電コンバータ(Ver1.01)

リモコン設定器:LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.00)

③蓄電池部の追加:LJB1235050, LJB1256050を追加

④連系／自立切替SWの追加:

[自立出力 単相2線100V設定時]

連系／自立切替SW;LJP6234, LJP6234050(単相2線式)を追加

[自立出力 単相3線200V設定時]

自立出力トランジスタ:LJTR241050を追加

連系/自立切替SW;LJP633K050, LJP6338050, LJTS1601(単相3線)を追加

⑤特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置の追加及びソフトウェア管理番号の変更

4.2020年3月24日／2020年4月1日

①認証取得者の名称変更:三洋電機株式会社 エネルギーシステム SBU

②特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置の追加

5.2020年5月19日／2020年5月19日

①認証モデルの追加

パワコン型式の追加;SHRC55A-SN及びSHRC55AS-SNを追加

システム型式の追加;PSH-RC41035-SN等の追加

②蓄電池用コンバータの追加;SHDB35A-SN等の追加

③ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.01) 電力制御マイコン(Ver1.01)

充放電コンバータ(Ver1.01)

リモコン設定器:LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.00)及びパワコン本体同梱部品(Ver1.00)

④蓄電池ユニットの追加;SHBU35A-SN等の追加

⑤トランスユニットの追加;SHTR01-SNの追加

⑥トランスユニットの誤記訂正;LJTR241に訂正

⑦特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置の追加

認証登録番号:MD-0038

6. 2020年6月8日／2020年6月8日

①ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.02) 電力制御マイコン(Ver1.02)

充放電コンバータ(Ver1.02)

リモコン設定器:LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.10)及びパワコン本体同梱部品(Ver1.10)

7.2020年7月6日／2020年7月6日

①認証モデルの追加

システム型式の追加;PLJ-RC41056A等の追加

②ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.02) 電力制御マイコン(Ver1.02)

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,

SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.02)及びLJDC201, LJDC202(Ver2.00)

リモコン設定器:

LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.10)及びパワコン本体同梱部品(Ver1.10)

8.2020年8月21日／2020年8月21日

①特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置ソフトウェア管理番号の変更

9.2020年9月17日／2020年9月17日

①連系／自立切替SWの追加:

[自立出力 単相3線200V設定時]

連系/自立切替SW;LJTS1601050, LJTS1621050(単相3線)を追加

10.2020年12月24日／2020年12月24日

①連系/自立切替SW追加;LJTS2322, LJTS234050, LJTS234(単相2線)

及びLJTS1621, LJTS3353, LJTS338050(単相3線)を追加

11.2021年2月9日／2021年2月9日

①ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体

システム制御マイコン(Ver1.02) 電力制御マイコン(Ver1.02)

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,

SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.03)及びLJDC201, LJDC202(Ver2.01)

リモコン設定器:

LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.10)及びパワコン本体同梱部品(Ver1.10)

12.2021年4月23日／2021年4月23日

①ソフトウェア管理番号の変更:

パワコン本体システム

制御マイコン(Ver1.02) 電力制御マイコン(Ver1.02)

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,

SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.03)及びLJDC201, LJDC202(Ver2.01)

認証登録番号:MD-0038

リモコン設定器:

LJNR01A, LJNR01A050(Ver1.20)及びパワコン本体同梱部品(Ver1.20)

②特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置ソフトウェア管理番号の変更

13.2021年6月24日／2021年6月24日

①特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置の追加

②特記事項の変更:別表の記載にノンファーム接続スケジュール対応を追加

14.2021年7月20日／2021年7月20日

①認証モデルの追加:

システム型式の追加;PLJ-RC41063等の追加

②ソフトウェア管理番号の変更:

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,
SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.03), LJDC201, LJDC202(Ver2.01)
及び LJDC201A, LJDC202A(Ver3.00)

③蓄電池ユニットの追加:LJB2263の追加

④充放電コンバータの追加:LJDC201A,LJDC202Aの追加

15.2021年7月29日／2021年7月29日

①特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置ソフトウェア管理番号の変更

②特記事項の変更:別表に記載している出力制御装置の追加

16.2021年8月24日／2021年8月24日

①ソフトウェア管理番号の変更:

充放電コンバータ:

LJDB151, LJDB152, LJDB201, LJDB202, SHDB35A-SN, SHDB35AS-SN,
SHDB56A-SN, SHDB56AS-SN(Ver1.03), LJDC201, LJDC202(Ver2.01)
及び LJDC201A, LJDC202A(Ver3.01)

－以下余白－